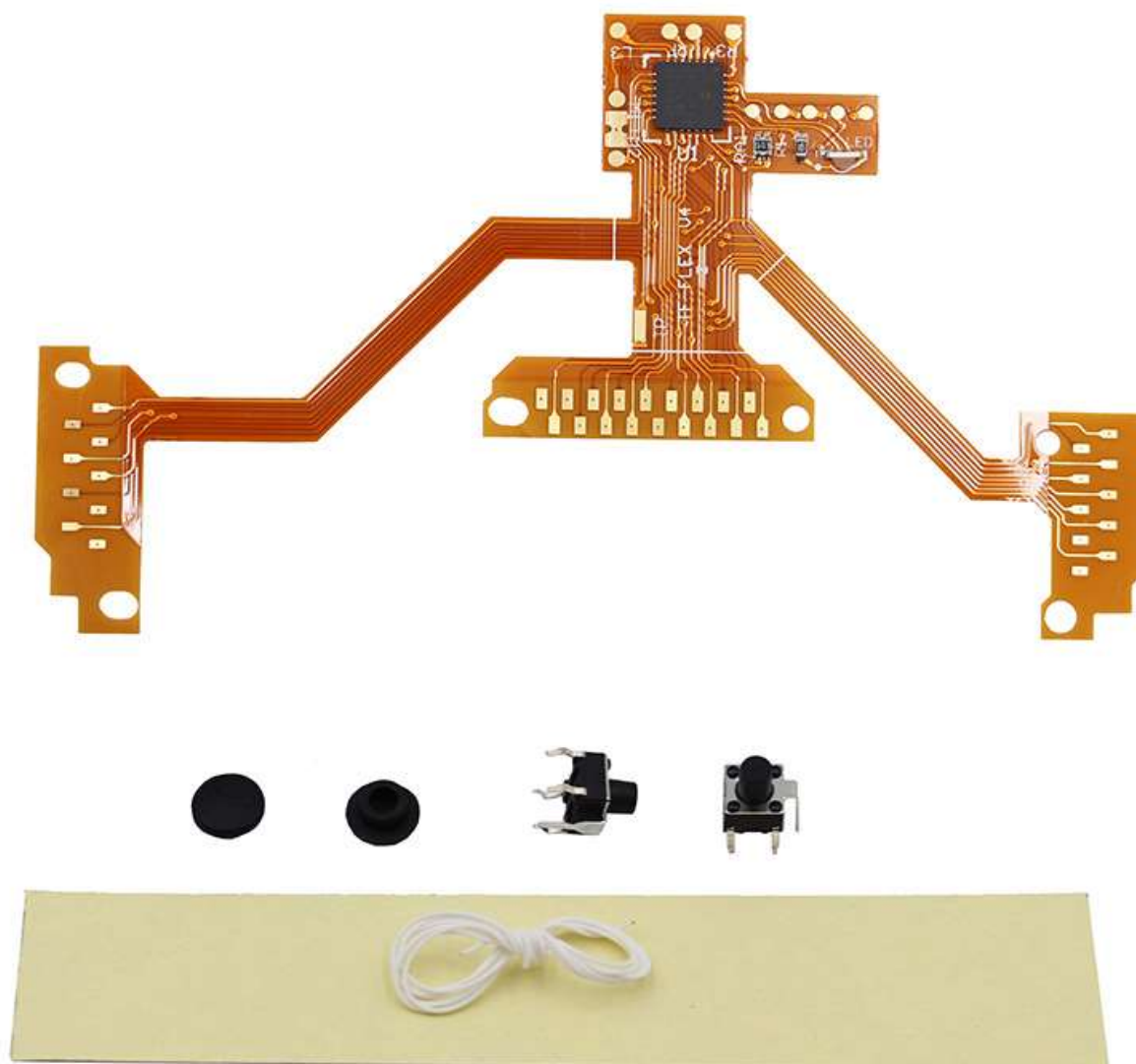
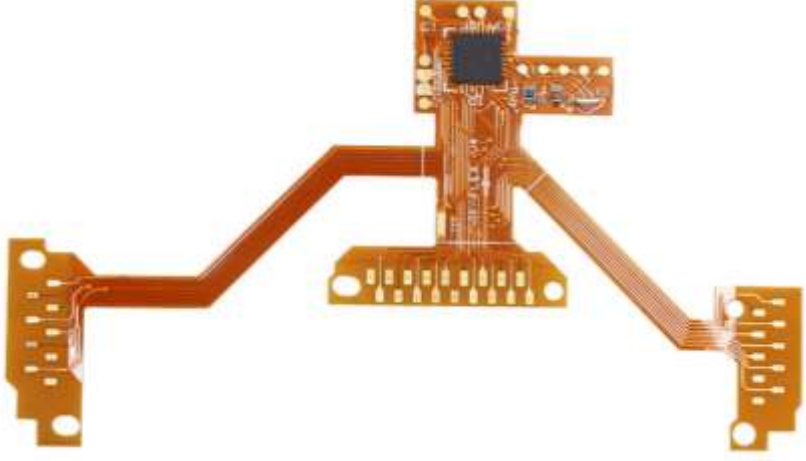





PS4 Rapid Fire 2.0 取り付けマニュアル



・まずは部品が入っているかを確認しましょう。

チェック	部品名	写真
□	Rapid Fire チップボード	 A complex orange printed circuit board (PCB) with multiple connectors and a central chip. It has a central vertical section with a chip, and two long horizontal sections extending outwards, each ending in a connector strip.
□	ケーブル	 A white cable with a loop at one end, resting on a light green rectangular background.
□	※タクトスイッチ 2個	 Two black tactile switches with three pins, shown from different angles.
□	※ボタンカバー 2個	 Two black, dome-shaped button covers.

※タクトスイッチとボタンカバーはオプションを組み立てたい際に使用します。

自分で用意するもの

・PS4 コントローラー

- ・十字ドライバー(100均でセット売りされている小型のものをお勧めします)
- ・マイナスドライバー
- ・細いラジオペンチ
- ・はんだこて
- ・はんだ
- ・ニッパー

必ず作業前に下記の動作確認をしましょう

- ・コントローラーの電源が入り、充電ができること
→電源が入らない or 電源が入るが不安定な本体は使用しない
- ・コントローラーのボタンとアナログスティックの動作確認
→作業前に点検することを強く推奨します。取り付けによる破損と見分け
つために必要です

快適に作業をするために必要なもの

- ・養生テープ(100均のものよりもホームセンターで売られているものをお勧めします)

あったほうがいいもの

- ・ワイヤストリッパー で30GA に対応のもの(線の太さが0.25mm 程度の規格の名前です)
- ・金属のヘラ

はじめ

コントローラーの分解も含め、難易度が高いです。事前にいらないコントローラーを1台分解して練習をしておくことを推奨します。自己責任でお願いいたします。

では組み立てに入ります！

このマニュアルは、あおいりいさまのフリーフォントの『りいれがきポップ角』を使用しています。

1. コントローラーの外装を外す

コントローラーを裏返して、ねじを外します。ねじは□で囲まれた4か所のネジです。



外す際は下部のマイクポート付近からカバーを外します。



コントローラーの下部を左の人差し指と親指で、上部の外装を右の人差し指と親指でつかみ、カチッという音がするまでコントローラーの外装を引き離します。



LRのトリガーを取り外さなくても、外装を取り外すことができます。アナログスティックに近い丸い先端の外装の近くにある部品を持ち上げる。

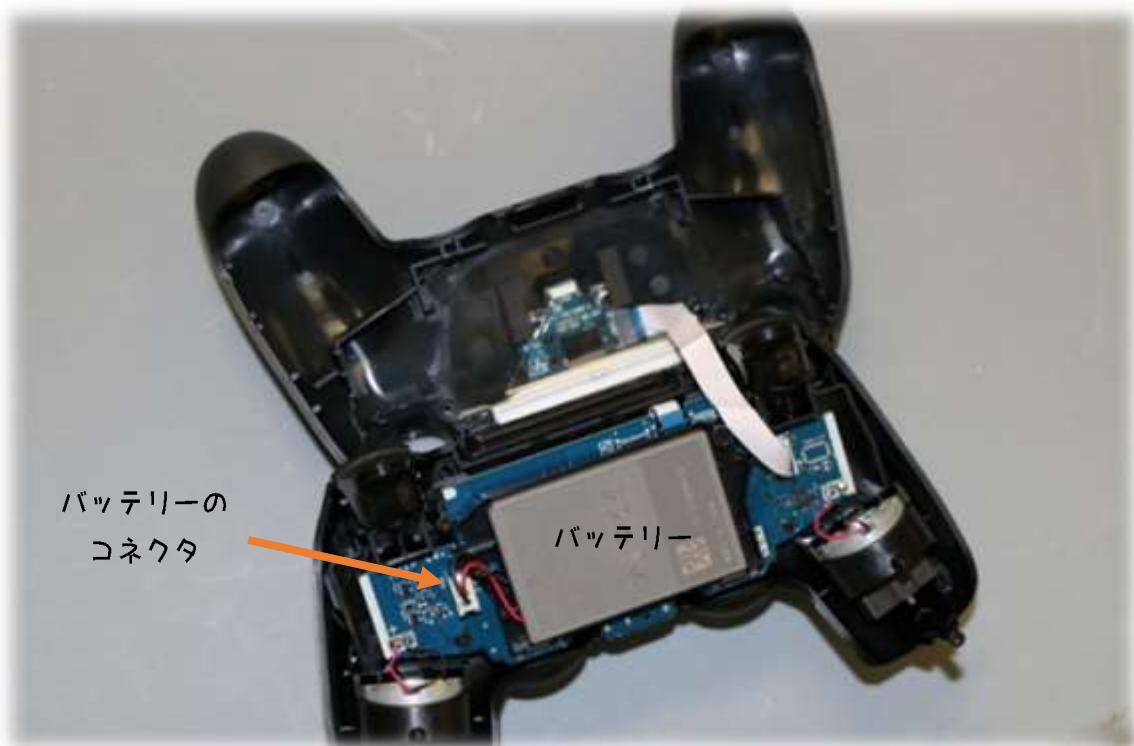


アナログスティック近くの丸い部分を外すことができたなら、外装の後ろ半分を前方向に押し、バンパーとLRのトリガーを外すことができます。

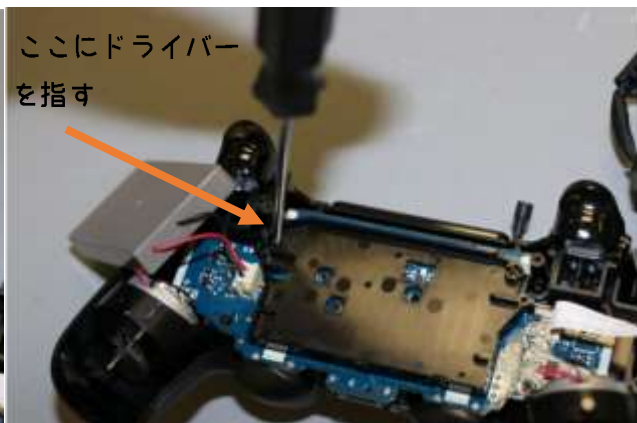
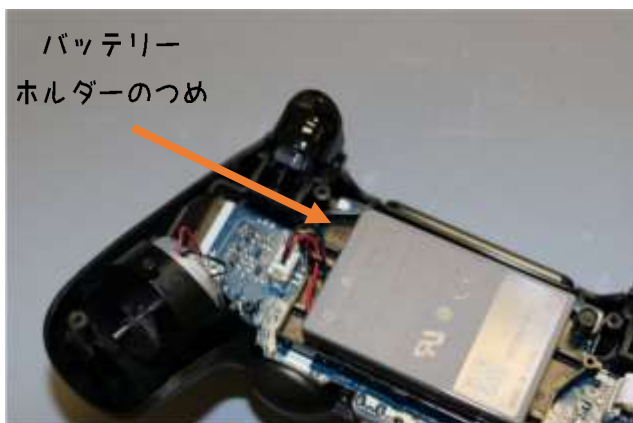


※LR のトリガーが外れないように注意して外しましょう。LR のトリガーが外れた場合は、小さなばねが外れます。小さなばねをなくさないように気を付けましょう。

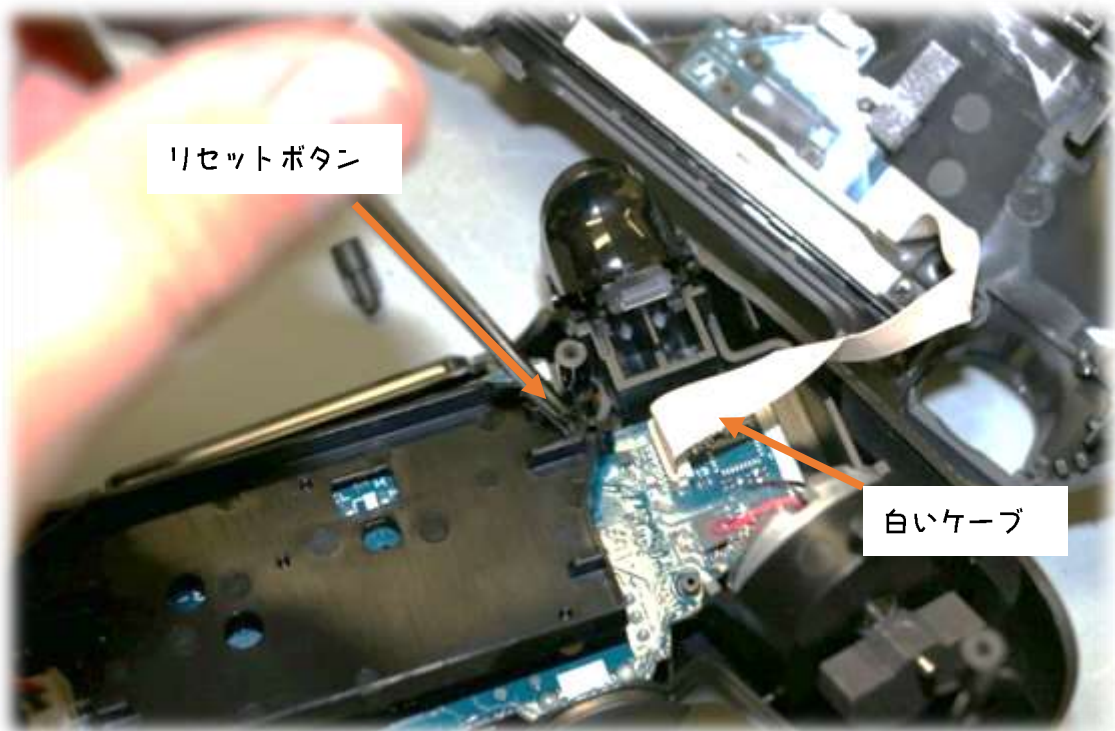
2. 基板に取り付ける準備をする



小さなゴムのリセットボタンは紛失しやすいので取り外してください。バッテリーのコネクタを外し、バッテリーを取り外します。



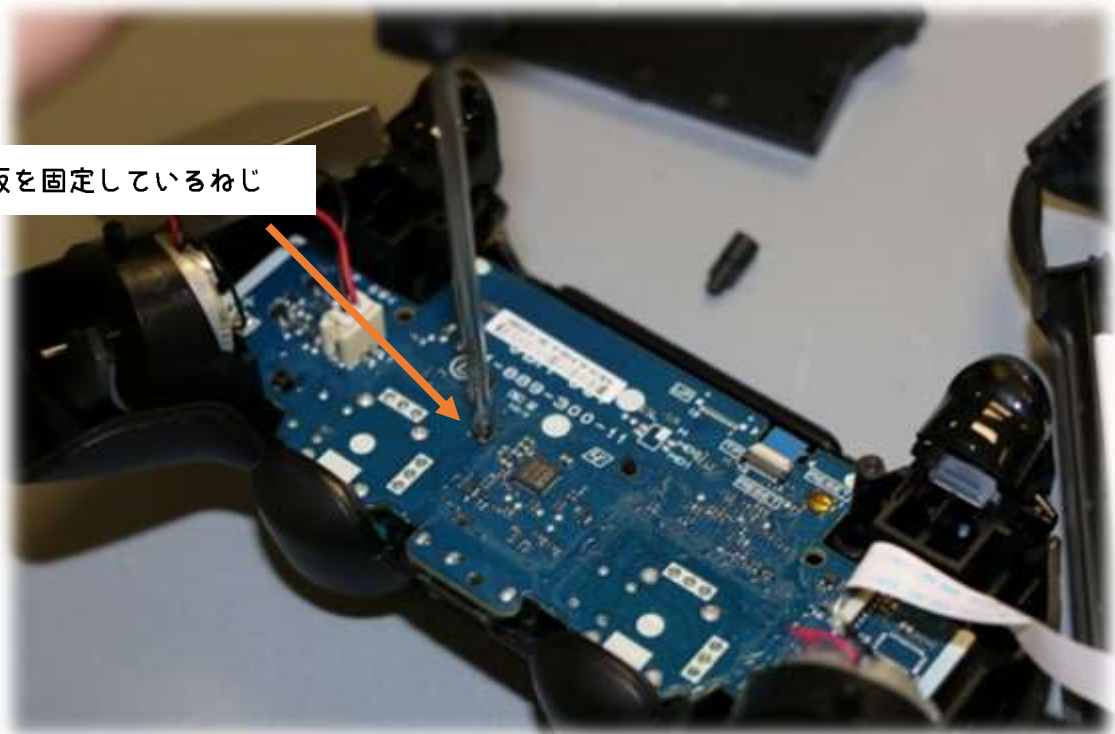
黒色のバッテリーホルダーは、回路基板の2つのプラスチック製のタブによって所定の位置に引っ掛かるように仮固定されています。タブを緩めるには、次の位置にマイナスドライバーを挿入します。



黒色のプラスチックのバッテリーホルダーを取り外します。基板を固定しているねじを取り外します。次に、白いケーブルを青いタブ上でまっすぐ引き上げて取り外します。

次に、基板上に RESET と印字されたものの近くにある小さなケーブルを探してください。白いタブを持ち上げ、青いタブを引いてリボンケーブルを引き出します。

(白いタブは青いタブを固定するためのものです。青いタブを引き出すには白いタブを持ち上げる必要があります。)



2つのケーブル、バッテリー、リセットボタン、基板を固定しているねじが外れていることを再度確認してください。基板上には、振動モーターにつながった配線のみになっています。

基板を引き上げ、写真のようにアナログスティック側が上に来るようにひっくり返してください。もしも基板が持ち上がらない場合は、ここまでの工程を確認してください。



3. コントローラーに基板を取り付ける

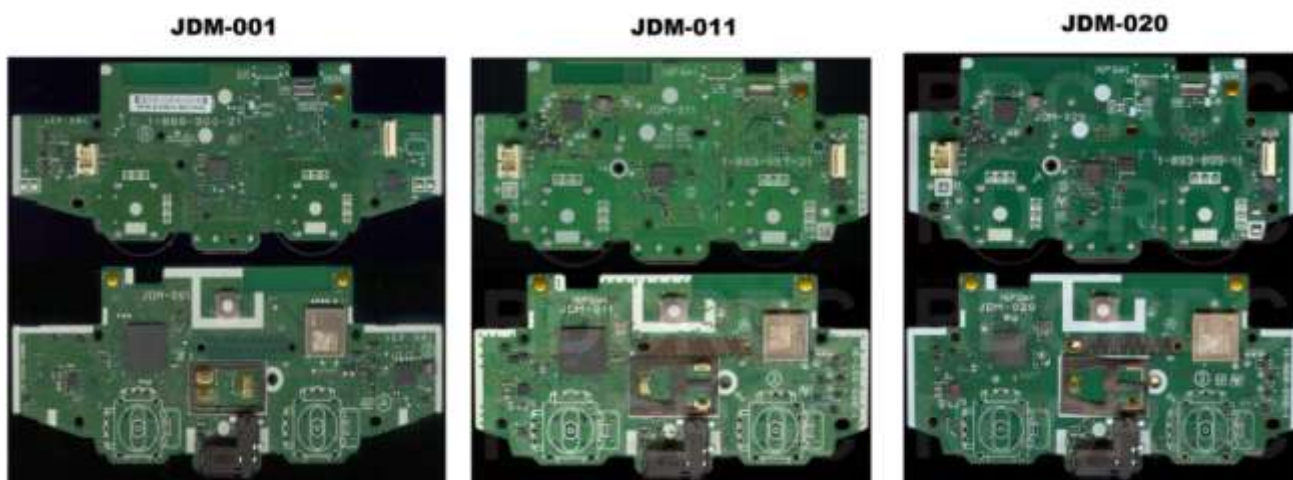
取り付けできる基板の確認用の写真です。基板は大きく分けて2タイプあります。写真で基板の種類を確認してください。

1つ目は JDM-001、JDM-011、JDM-020 のコントローラーです。

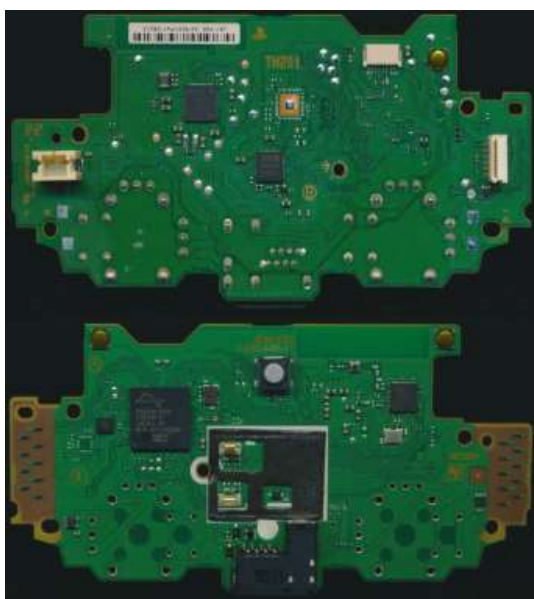
2つ目は JDM-030 のコントローラーです。

ここで基板を確認して、違う場合は取り付けができないので1章の手順を逆行に行い、コントローラーをもとに戻してください。

※1つ目の基板例



※2つ目の基板例



この基板のPS4バージョン(2015年7月あたりの製造のもの)は、以前のバージョンとは大きく異なります。

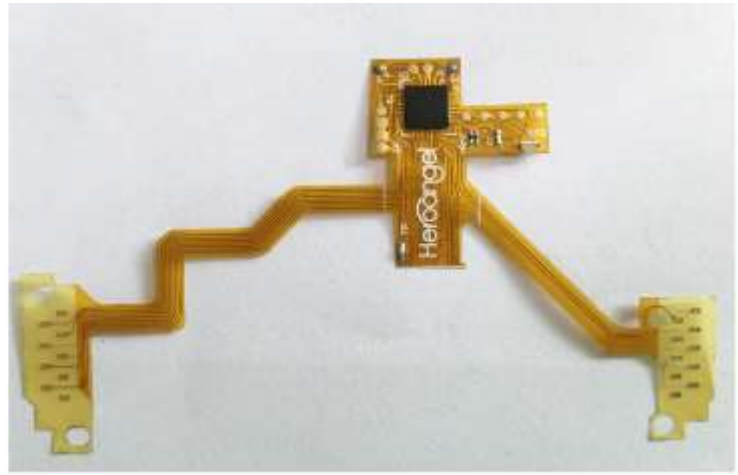
メイン基板は2ピースのデザインに分割され、以前のすべてのバージョンと同様に、メイン基板の側面と中央で接続されています。

これでRapidFireチップボードを取り付ける準備が整いました。まず、異なるバージョンのコントローラー基板のサブ回路を切断する必要があります。

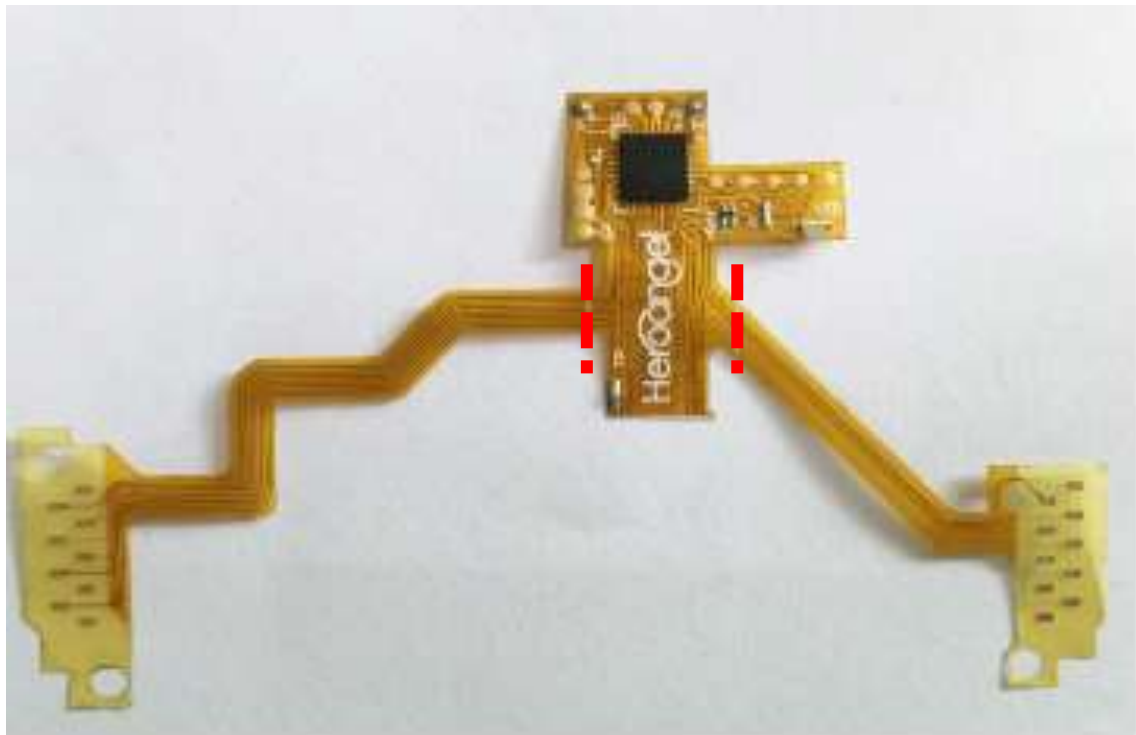
・1つめ用の基板



・2つめ用の基板



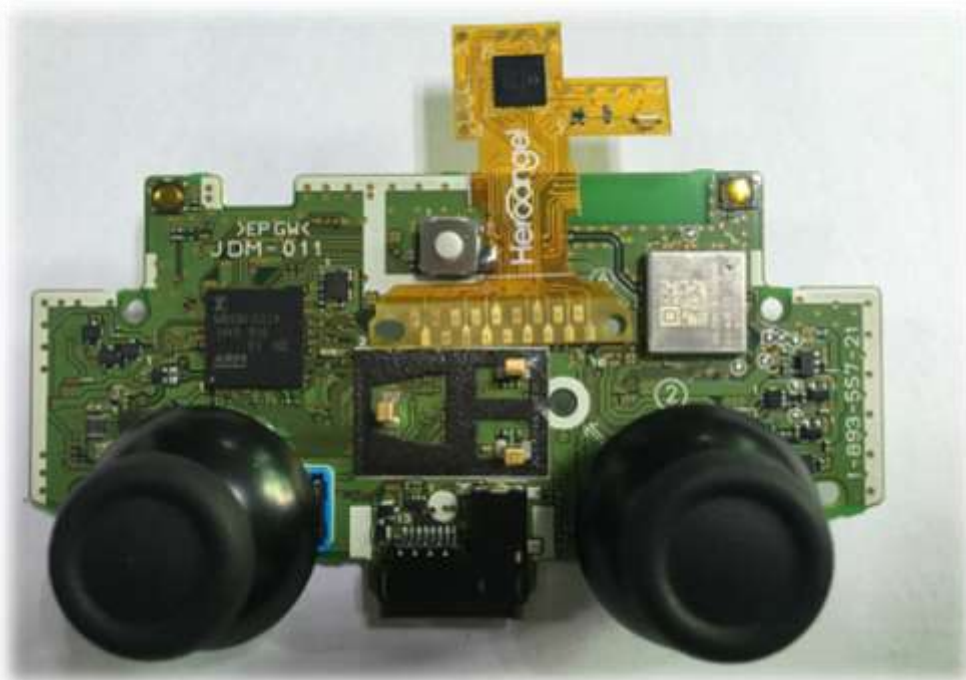
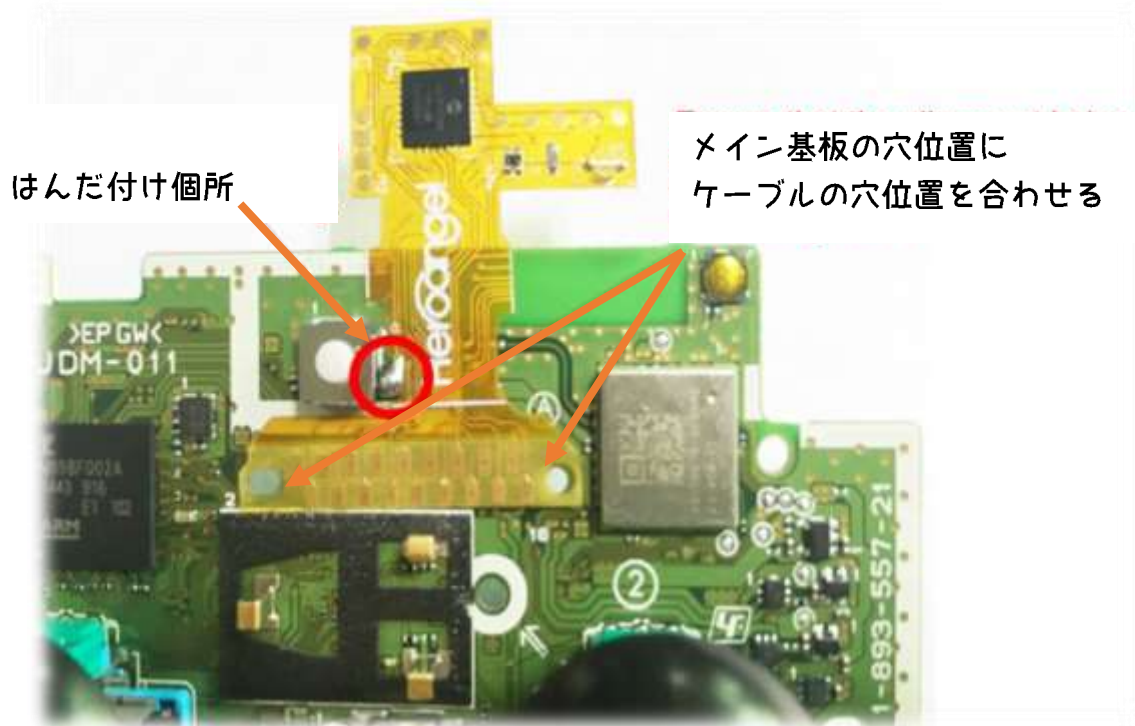
1つ目の基板用には両端のケーブルを切断します。切断位置は写真の点線の位置です。



以降は1つ目と2つめの基板の取り付けを分けて説明します。

A. 1つ目の JDM-001、JDM-011、JDM-020 への取り付け

次の写真のように Rapid Fire チップボードを配置し、位置合わせ穴の位置に、合わせされていることを確認しながら、適切に合わせるようにします。次に、赤い丸で印が付いているタッチパッドスイッチの脚部に TP と印字された部分をはんだ付けします。



写真のように Rapid Fire チップボードの穴とコントローラーのメイン基板の位置が正しく合っていることを確認してください。




正しく取り付けができている場合は□で囲ったピンが抵抗なく穴に刺さります。刺さらない場合は再度、基板の位置を調整してください。

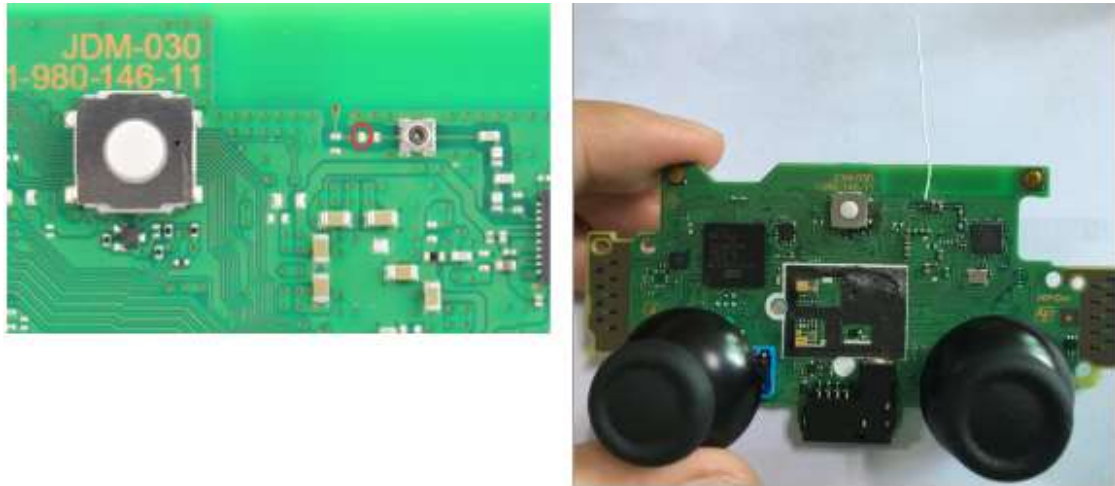


L3とR3を接続する配線を写真のようにはんだ付けします。はんだ付けの前にテープで基板を固定してください。

B. 2つ目の JDM-030 への取り付け

次の写真のように Rapid Fire チップボードに配線を赤丸()の位置にはんだ付けします。この配線は Rapid Fire チップボードのワイヤレス受信機能を強化するためです。

※**かならず組み立ての際に白いワイヤーを右に曲げてください。**

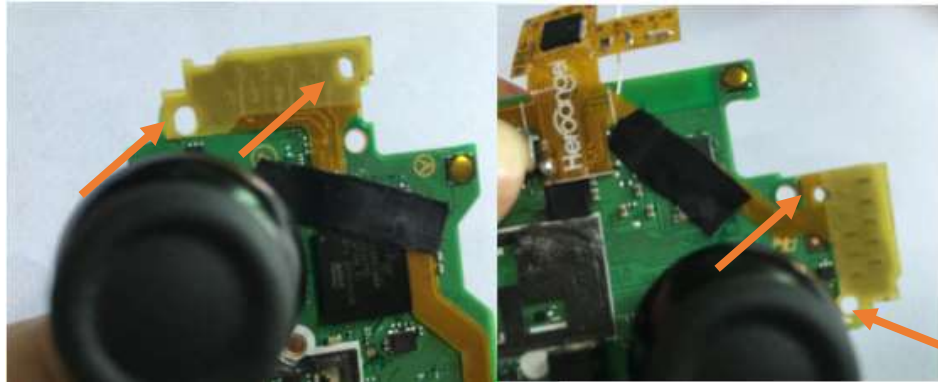


基板が直接マザーボードに接触しないように、下図のように絶縁性の黒色のテープで固定してください。



コントローラーの基板の上に Rapid Fire チップボードを置き、TP ポイントを右下のタッチパッドスイッチにはんだ付けします。





黒いテープを使用して、Rapid Fire チップボードの穴とコントローラーのメイン基板が適切に位置合わせされていることを確認します。固定位置は穴に合わせて固定してください。



メイン基板を回転させて元の位置に戻します。タッチパッドのリボンケーブルに注意してください。はんだ付けした白い配線を写真のように左に移動します。

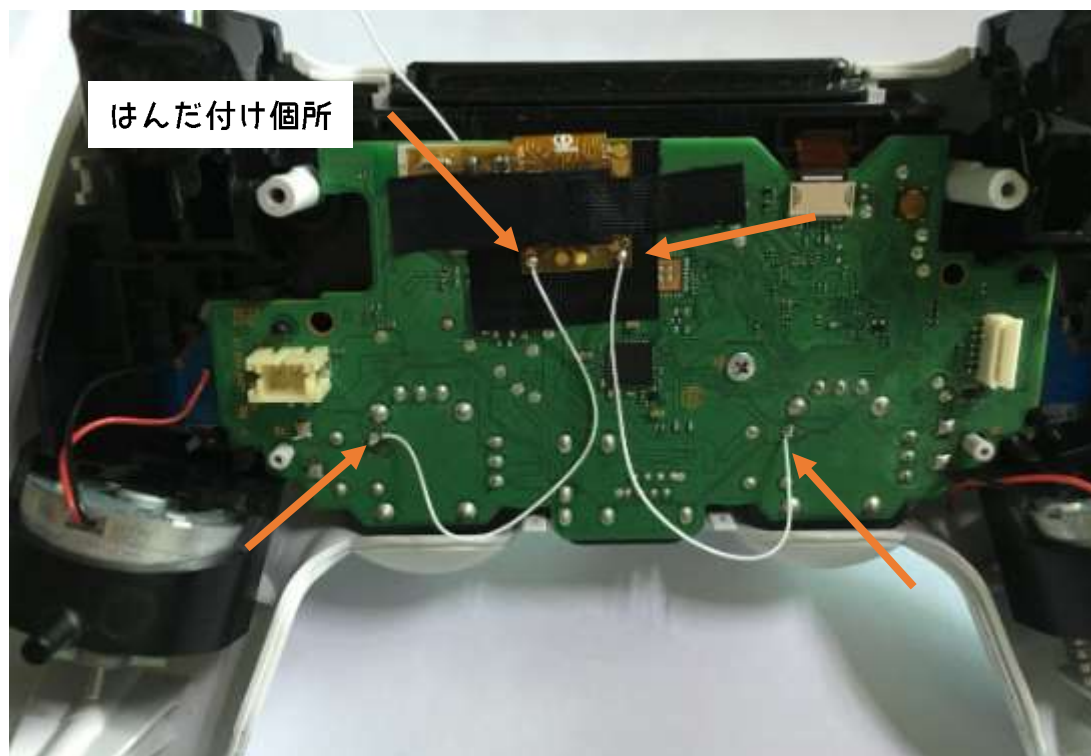
ここに絶縁用に
テープを貼る



Rapid Fire チップボードがコントローラーの基板に直接接触しないように、黒色のテープで絶縁する。



L3とR3を接続する配線を写真のようにはんだ付けします。はんだ付けの前にテープで基板を固定してください。



青いタブを外に向けて差し込み、バッテリーを戻し、シェルを元に戻します。

